

第 15 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム Scientific Standardization Committee Symposium 2021

配信日時		講演内容		
2月27日(土) ～4月27日(火)	オンデマンド 配信	教育講演 1～5		
		血小板部会	血友病部会	抗リン脂質抗体部会
		DIC 部会	HIT 部会	VWD/TMA 部会
		凝固系/抗凝固療法部会	血栓溶解部会 +凝固線溶検査部会	血栓性素因部会 +静脈血栓症/肺塞栓症部会
2月27日(土)	ライブ配信	A 会場		B 会場
	12:00～12:45	共催セミナー 1 中外製薬(株)		共催セミナー 2 KM バイオロジクス(株)
	13:00～13:45	共催セミナー 3 ノボ ノルディスク ファーマ(株)		共催セミナー 4 積水メディカル(株)
	14:00～14:45	共催セミナー 5 (一社)日本血液製剤機構		共催セミナー 6 サノフィ(株)
	15:00～15:45	共催セミナー 7 CSL ベーリング(株)		15:00～16:30 コーポレートセミナー 中外製薬(株)
	16:00～16:45	共催セミナー 8 武田薬品工業(株)		

教育講演

- | | |
|----------------------------------------------|---------|
| 1. 止血機能検査 「これから詳しくなりたい人のための止血機構と検査 (基本編)」 | 日笠 聡先生 |
| 2. 血小板 「臨床からみた血小板の役割」 | 羽藤 高明先生 |
| 3. 凝固・線溶系出血疾患 「血友病と加齢疾患」 | 長尾 梓先生 |
| 4. 凝固・線溶系血栓性疾患 「遺伝性血栓性素因患者の妊娠分娩管理に関する診療の手引き」 | 小林 隆夫先生 |
| 5. DIC/TMA 「DIC の病態・診断・治療」 | 窓岩 清治先生 |

学術標準化委員会シンポジウム

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. 血小板減少をきたす疾患の診断と治療 | 血小板部会 |
| 2. 血友病の遺伝子治療：臨床導入にあたっての問題点 | 血友病部会 |
| 3. 抗リン脂質抗体症候群の検査診断と治療の標準化に向けて | 抗リン脂質抗体部会 |
| 4. DIC の新たな病態解明に向けて | DIC 部会 |
| 5. ヘパリン起因性血小板減少症の診断、治療ガイドライン—最終案— | HIT 部会 |
| 6. 後天性 Von Willebrand 症候群 (aVWS) | VWD/TMA 部会 |
| 7. 凝固波形解析 (CWA) の最新情報 | 凝固系/抗凝固療法部会 |
| 8. 線溶系の基礎と臨床 | 血栓溶解部会、凝固線溶検査部会 |
| 9. 血栓性素因を再考する | 血栓性素因部会、静脈血栓症/肺塞栓症部会 |

コーポレートセミナー

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------|
| 血友病患者の骨と関節～健康寿命の延伸へ今からできること～ | 大野久美子先生
稲垣 有佐先生
共催：中外製薬株式会社 |
|------------------------------|-----------------------------------|

共催セミナー

- | | |
|--------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 高齢化時代における今後の血友病診療のあり方 | 藤井 輝久先生
共催：中外製薬株式会社 |
| 2. 先天性血友病インヒビター治療の最近の動向 | 長江 千愛先生
共催：KM バイオロジクス株式会社 |
| 3. 血液凝固第 VIII 因子補充療法の意義 ～ pathfinder™ 試験の概要と自験例を踏まえて～ | 小倉 妙美先生
共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 |
| 4. PT 試薬 —液状化の時代へ— | 下村 大樹先生
共催：積水メディカル株式会社 |
| 5. Real world data を用いた臨床研究 —敗血症性 DIC にアンチトロンビン製剤はどうか— | 田上 隆先生
共催：一般社団法人 日本血液製剤機構 |
| 6. 血友病性関節症早期発見のための関節診察 (HJHS など) | 牧野健一郎先生
共催：サノフィ株式会社 |
| 7. 血栓止血機序における新知見から臨床を再考する | 野上 恵嗣先生
共催：CSL ベーリング株式会社 |
| 8. これからの血液凝固因子製剤の役割と個別化治療について | 康 勝好先生
共催：武田薬品工業株式会社 |

プログラム

教育講演

1. 止血機能検査

「これから詳しくになりたい人のための止血機構と検査（基本編）」

演者：日笠 聡（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学）

2. 血小板

「臨床からみた血小板の役割」

演者：羽藤高明（愛媛県赤十字血液センター）

3. 凝固・線溶系出血疾患

「血友病と加齢疾患」

演者：長尾 梓（荻窪病院 血液凝固科）

4. 凝固・線溶系血栓性疾患

「遺伝性血栓性素因患者の妊娠分娩管理に関する診療の手引き」

演者：小林隆夫（浜松医療センター）

5. DIC/TMA

「DIC の病態・診断・治療」

演者：窓岩清治（東京都済生会中央病院 臨床検査医学科）

学術標準化委員会シンポジウム

1. 血小板部会

「血小板減少をきたす疾患の診断と治療」

座長：山之内純（愛媛大学 輸血・細胞治療部）

1. 血小板減少をきたす疾患

山之内純（愛媛大学 輸血・細胞治療部）

2. 血小板減少症の鑑別診断と血小板パラメータ

宮崎浩二（北里大学医学部 輸血・細胞移植学）

3. 血小板減少への治療を目指す再生医療等製品の開発

松原由美子（慶應義塾大学 医学部 臨床研究推進センター／臨床検査医学）

4. 成人 ITP 治療参照ガイド 2019 年版：ASH および ICR ガイドラインとの比較

柏木浩和¹⁾、富山佳昭²⁾

(¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学、²⁾ 大阪大学医学部附属病院 輸血部)

2. 血友病部会

「血友病の遺伝子治療：臨床導入にあたっての問題点」

座長：藤井輝久（広島大学病院 輸血部）

1. 血友病に対する遺伝子治療の現状
大森 司（自治医科大学医学部 生化学講座 病態生化学部門）
2. 遺伝子治療を行う上での注意点：規制や受け入れ準備について
久米晃啓（自治医科大学 臨床研究支援センター）
3. 遺伝子治療の薬価の特性—製造側の立場から
木村正伸（タカラバイオ株式会社 臨床開発）
4. 患者は遺伝子治療をどう考えているのか
松本剛史（一般社団法人ヘモフィリア友の会全国ネットワーク／三重大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

3. 抗リン脂質抗体部会

「抗リン脂質抗体症候群の検査診断と治療の標準化に向けて」

1. LA 部門

座長：野島順三（山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学）

ループスアンチコアグラント検査の標準化に向けて「2020 年度の総括」

山崎 哲¹⁾、内藤澄悦²⁾、奥 健志³⁾、家子正裕⁴⁾

(¹⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部、²⁾ 北海道医療大学病院 臨床検査部、³⁾ 北海道大学大学院医学
研究院 免疫・代謝内科学教室、⁴⁾ 岩手県立中部病院診療部 臨床検査科)

2. SPA 部門

座長：奥 健志（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

自動分析装置による抗リン脂質抗体検査の標準化

— 3 社の自動分析装置による抗体価および陽性率の比較 —

本木由香里¹⁾、金重里沙¹⁾、吉田美香²⁾、奥 健志³⁾、森下英理子⁴⁾、家子正裕⁵⁾、
野島順三¹⁾

(¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学、²⁾ 北海道医療大学病院 臨床検査部、³⁾ 北海道大学大学
院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学、⁴⁾ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 病態検査学、⁵⁾ 岩手
県立中部病院診療部 臨床検査科)

3. APS 部門

座長：家子正裕（岩手県立中部病院 診療部 臨床検査科）

抗リン脂質抗体症候群患者におけるクラスター分析を用いた長期予後の解析

尾形裕介、藤枝雄一郎、奥 健志、渥美達也

(北海道大学大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

4. DIC 部会

「DIC の新たな病態解明に向けて」

座長：池添隆之（福島県立医科大学 血液内科学講座）

1. COVID-19 における凝固線溶異常の病態：単施設後ろ向き観察研究
梅村 穰（大阪急性期・総合医療センター 救急診療科）
2. COVID-19 患者の播種性血管内凝固の診断と抗凝固療法：スコーピング・レビュー
森 博隆（福島県立医科大学 血液内科学講座）
3. DIC は PIICS 進展の独立した危険因子となる：単施設後ろ向き観察研究
中村謙介（日立総合病院 救急集中治療科）
4. 造血幹細胞移植後の血液凝固異常と核内蛋白の関連
原田佳代（福島県立医科大学 血液内科学講座）
5. 後天性の著明アンチトロンビン低下は、線溶抑制を伴い、DIC の予後を著しく悪くする
—リコモジュリン市販後調査成績の解析—
和田英夫¹⁾、本田剛一²⁾、河野徳明³⁾、内山俊正⁴⁾、川杉和夫⁵⁾、窓岩清治⁶⁾、竹迫直樹⁷⁾、
鈴木 圭⁸⁾、関 義信⁹⁾、池添隆之¹⁰⁾、岡本好司¹¹⁾、射場敏明¹²⁾
(¹⁾ 三重県立総合医療センター 大学院連携講座、²⁾ 旭化成ファーマ株式会社 メディカル・アフェアーズ、
³⁾ 県立宮崎病院 内科、⁴⁾ 高崎総合医療センター 臨床検査科、⁵⁾ 帝京大学 医療技術学部、⁶⁾ 東京都済生会
中央病院 臨床検査科、⁷⁾ 災害医療センター 血液内科、⁸⁾ 三重大学 救命救急部、⁹⁾ 新潟大学魚沼地域医療
教育センター 血液内科、¹⁰⁾ 福島県立医科大学 血液内科、¹¹⁾ 北九州市立八幡病院 外科、¹²⁾ 順天堂大学 救
急・災害医学)
6. ラット DIC モデルを用いた研究のピットフォール—DIC 誘発物質による病態の違い—
菅 幸生¹⁾、朝倉英策²⁾
(¹⁾ 金沢大学医薬保健研究域薬学系、²⁾ 金沢大学附属病院 高密度無菌治療部)

5. HIT 部会

「ヘパリン起因性血小板減少症の診断、治療ガイドライン—最終案—」

座長：矢富 裕（東京大学大学院医学系研究科 臨床病態検査医学）

安本篤史（北海道大学病院 検査・輸血部）

1. ヘパリン投与患者でどのような患者で HIT のスクリーニングが必要か？また、どのように HIT のスクリーニングを行うべきか？
高田眞紀子（東京都立多摩総合医療センター 麻酔科）
2. HIT を疑う際に、有用な臨床的診断法はどれか？ 4Ts スコアをどのように活用し、HIT を診断し、治療すべきか？
河野浩之（杏林大学医学部 脳卒中医学）
3. HIT の診断を確定させる際に、有用な血清学的診断法はどれか？
安本篤史¹⁾、金子 誠²⁾（¹⁾北海道大学病院 検査・輸血部、²⁾三井記念病院 臨床検査部）
4. 代替抗凝固薬をどのように使用すべきか？
伊藤隆史（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 システム血栓制御学）
5. どのような症例で抗凝固薬以外の治療を検討すべきか
宮田茂樹（日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所）
6. 経口抗凝固薬への切り替えについて
本橋慎也¹⁾、大谷美穂²⁾（¹⁾東京医科大学八王子医療センター 心臓血管外科、²⁾苫小牧保健センター）
7. 心血管手術・経皮的な心血管インターベンション・腎代替療法
薦田さつき¹⁾、土井洋平²⁾（¹⁾岡崎市民病院 心臓血管外科、²⁾大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学）

6. VWD/TMA 部会

「後天性 Von Willebrand 症候群 (aVWS)」

座長：日笠 聡 (兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学)

1. 後天性 Von Willebrand 症候群 (aVWS) オーバービュー
日笠 聡 (兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学)
2. 血液疾患における AvWS の多様性
毛利 博 (藤枝市立総合病院)
3. 循環器疾患に合併する aVWS
堀内久徳 (東北大学加齢医学研究所)
4. 機械的補助循環に合併する aVWS
齋木佳克 (東北大学 心臓血管外科)

7. 凝固系／抗凝固療法部会

「凝固波形解析（CWA）の最新情報」

座長：村田 満（慶應義塾大学医学部 臨床検査医学）

矢富 裕（東京大学大学院医学系研究科 臨床病態検査医学）

1) APTT 波形

1-1. 検査室における CWA の活用法

徳永尚樹（社会医療法人川島会 川島病院 検査室）

1-2. 新規パラメータを用いた CWA における病態鑑別

馬場由紀子、樋渡小夜、藤本明子、渡邊久美子、堀田多恵子（九州大学病院 検査部）

1-3. APTT 凝固波形解析による COVID-19 凝固異常の探索

志村拓也、蔵野 信、西川真子、矢富 裕（東京大学医学部附属病院 検査部）

1-4. 凝固波形に基づくテンプレートマッチング法を応用した第 VIII 因子活性評価法の開発

下西成人、荻原建一、嶋 緑倫、野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

1-5. CWA を用いた抗凝固薬の特性解析

涌井昌俊¹⁾、藤森祐多²⁾（¹⁾ 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室、²⁾ 慶應義塾大学病院 臨床検査技術室）

座長：橋口照人（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野）

金子 誠（三井記念病院 臨床検査部）

2) Modified CWA

2-1. 凝固線溶波形解析（CFWA）に基づく DIC の凝固／線溶動態の解明

大西智子、石原 卓、下華奈子、野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

2-2. 凝固線溶波形解析の特徴と病態解析の検討

松本智子¹⁾、下村大樹²⁾、篠原 翔³⁾、熊野 穰³⁾、新井信夫³⁾、
上岡樹生²⁾（¹⁾ 天理医療大学 臨床検査学科、²⁾ 天理よろづ相談所病院 臨床検査部、
³⁾ シスメックス株式会社）

2-3. CWA-sTF/FIX

和田英夫（三重県立総合医療センター／大学院連携講座）

座長：川杉和夫（帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科）

3) 開発企業の戦略

3-1. 全自動血液凝固測定装置 CN-3000/CN-6000 における CWA 機能の取り組み

篠原 翔、鈴木健史、新井信夫（シスメックス株式会社）

3-2. 統合管理システム「HemoHub」による CWA 情報の提供について

藤岡 貴（アイ・エル・ジャパン株式会社 血液凝固ビジネスユニット）

3-3. 全自動血液凝固検査システム STACIA CN10 における凝固波形について

門脇 淳（株式会社 LSI メディエンス 診断薬事業本部 事業統括部 研究開発部）

8. 血栓溶解部会、凝固線溶検査部会

「線溶系の基礎と臨床」

第1部

座長：竹下享典（埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部）

長尾毅彦（日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科）

1) 線溶機能検査について

1-1. 線溶系の基礎と臨床 オーバービュー

内場光浩（熊本大学病院 輸血・細胞治療部）

1-2. FDP と D ダイマーの標準化へむけての課題

福武勝幸（東京医科大学 臨床検査医学分野）

2) 線溶療法 up to date

2-1. 超音波を用いた新しい線溶治療

三村秀毅（東京慈恵会医科大学 神経内科）

2-2. 外傷診療におけるトラネキサム酸の功罪

関根和彦、入野志保、菅原洋子、武部元次郎、小林陽介、土屋悠海、鎌形知弘、道浦 悠、
菊岡吉朗（東京都済生会中央病院 救急診療科）

3) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の現状

大野秀明（埼玉医科大学総合医療センター 感染症科・感染制御科）

第2部

座長：鈴木優子（浜松医科大学 医生理学講座）

山崎昌子（戸田中央総合健康管理センター）

1) 線溶検査に関する最新の動向—凝固波形解析の応用を中心に—

藤森祐多（慶應義塾大学病院 臨床検査技術室）

2) 代表的な線溶異常の病態と検査

2-1. CAT（Cancer Associated Thrombosis）と Trousseau 症候群の定義の異同：われわれは誰をトルソーと呼ぶべきか？

長尾毅彦（日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科）

2-2. AL アミロイドーシスにおける出血傾向と凝固線溶異常（第3報）

荒幡昌久¹⁾、朝倉英策²⁾（¹⁾ 南砺市民病院 内科、²⁾ 金沢大学附属病院 高密度無菌治療部）

2-3. 重症外傷後の凝固線溶動態の解析—前向き観察研究—

下野謙慎¹⁾、伊藤隆史²⁾、上國料千夏³⁾、古別府裕明⁴⁾、政所祐太郎⁴⁾、江口智洋⁴⁾、
新山修平⁴⁾、大西広一¹⁾、吉原秀明¹⁾、垣花泰之³⁾

（¹⁾ 鹿児島市立病院 救命救急センター、²⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 システム血栓制御学講座、

³⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 救急・集中治療医学分野、⁴⁾ 鹿児島大学病院 救命救急センター）

2-4. PAI-1 欠損症：自験例と病態の考察

橋口照人¹⁾、竹谷英之²⁾、窓岩清治³⁾、内場光浩⁴⁾（¹⁾ 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学分野、²⁾ 東京大学医科学研究所附属病院 関節外科、³⁾ 東京都済生会中央病院 臨床検査医学科、⁴⁾ 熊本大学病院 輸血・細胞治療部）

2-5. COVID-19 の凝固線溶異常とその意義

朝倉英策¹⁾、山田真也²⁾（¹⁾ 金沢大学附属病院 高密度無菌治療部、²⁾ 金沢大学附属病院 血液内科）

9. 血栓性素因部会、静脈血栓症／肺塞栓症部会

「血栓性素因を再考する」

座長：保田 知生（星ヶ丘医療センター 血管外科）

森下英理子（金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 病態検査学）

1. AT 活性測定試薬の標準化ならびに基準値設定の試み

家子正裕^{1) 3)}、森下英理子^{2) 3)}、日本アンチトロンビン標準化ワーキンググループ³⁾

(¹⁾ 岩手県立中部病院 血液内科・臨床検査科、²⁾ 金沢大学 医薬保健学総合研究科病態検査学講座、³⁾ 日本アンチトロンビン標準化ワーキンググループ)

2. 新生児血栓症の全国調査

落合正行¹⁾、市山正子²⁾、園田素史¹⁾、江上直樹¹⁾、石村匡崇¹⁾、後藤和人³⁾、堀田多恵子³⁾、康 東天³⁾、大賀正一¹⁾ (¹⁾ 九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野、²⁾ 福岡市立こども病院 新生児科、³⁾ 九州大学病院 検査部・臨床検査医学分野)

3. 手術や長期臥床、内科疾患のリスク因子について（VTE ガイドラインから）

荻原義人（三重大学医学部附属病院 循環器内科）

4. COVID-19 関連凝固異常症 — 全国アンケート調査 6,000 例のデータから —

森下英理子^{1) 5)}、堀内久徳^{2) 5)}、浦野哲盟^{3) 5)}、横山健次^{4) 5)}

(¹⁾ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 病態検査学、²⁾ 東北大学加齢医学研究所、³⁾ 浜松医科大学 医生理学、⁴⁾ 東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科、⁵⁾ 厚生労働省難治性疾患政策研究事業「血液凝固異常症等に関する研究」班・日本血栓止血学会・日本動脈硬化学会合同「COVID-19 関連血栓症」アンケート調査チーム)

5. がん関連血栓症

池田正孝（兵庫医科大学 外科学講座 下部消化管外科）

コーポレートセミナー

(15:00～16:30)

「血友病患者の骨と関節～健康寿命の延伸へ今からできること～」

座長：嶋 緑倫（奈良県立医科大学 血栓止血研究センター）

1. 血友病患者における骨管理

演者：大野久美子（東京大学医科学研究所附属病院 関節外科）

2. 血友病患者における関節管理

演者：稲垣有佐（奈良県立医科大学 整形外科学教室）

共催：中外製薬株式会社

共催セミナー

(12:00 ~ 12:45)

1. 「高齢化時代における今後の血友病診療のあり方」

座長：天野景裕（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：藤井輝久（広島大学病院 輸血部／血友病診療センター）

共催：中外製薬株式会社

(12:00 ~ 12:45)

2. 「先天性血友病インヒビター治療の最近の動向」

座長：福武勝幸（東京医科大学 臨床検査医学分野）

演者：長江千愛（聖マリアンナ医科大学病院 小児科）

共催：KM バイオロジクス株式会社

(13:00 ~ 13:45)

3. 「血液凝固第 VIII 因子補充療法の意義～ pathfinder™ 試験の概要と自験例を踏まえて～」

座長：野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

演者：小倉妙美（静岡県立こども病院 血液凝固科）

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

(13:00 ~ 13:45)

4. 「PT 試薬 一液状化の時代へ」

座長：鈴木信也（公益財団法人 心臓血管研究所）

演者：下村大樹（公益財団法人 天理よろづ相談所病院）

共催：積水メディカル株式会社

(14:00 ~ 14:45)

5. 「Real world data を用いた臨床研究—敗血症性 DIC にアンチトロンビン製剤はどうか—」

座長：山川一馬（大阪医科大学 救急医学教室）

演者：田上 隆（日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科）

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

(14:00 ~ 14:45)

6. 「血友病性関節症早期発見のための関節診察（HJHS など）」

座長：徳川多津子（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学講座）

演者：牧野健一郎（医療法人財団はまゆう会新王子病院 リハビリテーション科）

共催：サノフィ株式会社

(15:00 ~ 15:45)

7. 「血栓止血機序における新知見から臨床を再考する」

座長：松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）

演者：野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科学教室）

共催：CSL ベーリング株式会社

(16:00 ~ 16:45)

8. 「これからの血液凝固因子製剤の役割と個別化治療について」

座長：酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）

演者：康 勝好（埼玉県立小児医療センター 血液・腫瘍科）

共催：武田薬品工業株式会社